

大川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準等を定める条例の一部改正

介護保険法施行規則等の一部を改正する省令により、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴う改正です。

27年度国民健康保険事業特別会計予算

国民健康保険法に基づく医療事業等について予算編成を行うもので、予算総額は56億9千300万円です。

(歳出の主なもの)

総務費7千764万9千円、保険給付費34億4千384万8千円、後期高齢者支援金等5億3千565万8千円、介護納付金2億3千589万1千円、共同事業拠出金13億5千396万3千円などです。

要望 今後、データヘルス計画の作成にあたり、医師会等とも連携し、地域の特性に応じた対策を行うことにより医療費の抑制に取り組んでいただきたい。

27年度後期高齢者医療事業特別会計予算

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療事業等のうち、保険料徴収など本市が行うべき事業等について予算編成を行うもので、予算総額は5億2千200万円です。

(歳出の主なもの)

総務費1千607万4千円、後期高齢者医療広域連合納付金5億361万6千円などです。

27年度介護保険事業特別会計予算

介護保険法に基づき、介護保険事業勘定及び介護サービス事業勘定について予算編成を行うもので、予算規模は、介護保険事業勘定34億3千万円と介護サービス事業勘定3千万円を合わせて、34億6千万円です。

(介護保険事業勘定の主な歳出)

総務費1億1千641万4千円、保険給付費32億1千811万4千円

(介護サービス事業勘定の主な歳出)

総務管理費2千287万8千円、

問 施設等に入所し、帰宅時期が不明な場合の対応は。

答 2か月に1回メーター検針を行い、ゼロ表示が続いている時は、検針員を通じて連絡が来るため、その際に調査を実施している。

特別委員会

花宗川強制排水ポンプ設置に関する調査特別委員会

○特別委員会設置時期

24年9月6日に設置を行い、24年度は10名、25年度以降8名で調査活動を行いました。

人事案件

3月定例会において、次の方の選任(推せん)に同意しました。

- | | |
|-------------------|-----------|
| ◎大川市教育長 | 記伊哲也(大川) |
| ◎大川市固定資産評価審査委員会委員 | 井口節夫(川口) |
| ◎大川市固定資産評価審査委員会委員 | 龍秀俊(川口) |
| ◎人権擁護委員候補者 | 古賀芳史(田口) |
| ◎人権擁護委員候補者 | 今村由利子(川口) |

居宅サービス事業費662万2千円

意見 介護サービスの市の負担について市民に認識していただくことが重要である。市民へのアンケート等を実施し市民の認識を行政として把握する必要があるのではないか。

産業建設委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決されました

26年度下水道事業特別会計補正予算

酒見地内に予定していた下水道築造工事の工事延長200メートルについて、今年度の工事予定箇所と隣接していた関係で、交通規制や迂回路について、地域住民の意見を拝聴しながら検討を行ってきたが、地域生活に支障を来すため、発注時期の見直しが必要となり、年度内での工事完成が見込めないで、繰越明許費の設定を行うものです。

27年度下水道事業特別会計予算

27年度は、これまでに供用開始

○活動経過

24年度は昭和62年度以降に花宗川防潮水門建設促進期成会を取り組まれた要望活動等に関する報告を受け、国、県への要望活動の取り組みについて協議を行うとともに、花宗水門への強制排水ポンプの早期設置に向け、国土交通省九州地方整備局、筑後川河川事務所等に強く要望するなど、4回の活動を実施しました。

25年度は特別委員会独自に要望書を作成し、国土交通省九州地方整備局及び筑後川河川事務所、国土交通省、財務省の幹部職員並びに地元選出国会議員、自由民主党副幹事長に面会し、花宗水門への強制排水ポンプの設置及び予算措置等を強力に要請しました。さらに、秋田県会議員とも強制排水ポ



国土交通副大臣への要望行動

を行った地域の水洗化促進や管渠整備による供用開始区域の拡大及び、龍代ポンプ場整備に要する経費等、予算総額は5億9千500万円です。

問 現在下水道収入だけでは一般管理費や維持管理費を賄うことは難しいと思うが、何件くらいの接続があれば、これを賄うことができるのか。

答 事業計画で承認をいただいている252ヘクタールの内、26年度末までに208ヘクタール、率にして82.5パーセントの整備完了を見込んでいる。水洗化の接続率は62.9パーセントと見込んでおり、これが80パーセント程度までいけば、水処理センター等の維持管理は収益で賄えると思うている。ただし、起債の償還については別に支払っていく必要がある。

27年度上水道事業会計予算

本会計予算の第3条収益的収支に関し、収入の水道事業収益は8億1千590万円で支出の水道事業費は8億970万円です。

ンプ設置の意見交換を行うなど、7回の活動を実施しました。

26年度は花宗沿川自治体に対し花宗水門への強制排水ポンプ設置に向けた協力要請を行い、要望書に支援コメントをいただき、国土交通省九州地方整備局、筑後川河川事務所、さらには国土交通省を初め、財務省、地元選出国会議員、自由民主党の総務会長等への要望活動を行いました。また、花宗沿川自治体が一丸となり取り組んでいることを説明するとともに、花宗水門への強制排水ポンプ早期設置を強く要望するなど、7回の活動を実施しました。

○達成できたこと

上京要望行動を実施し、国土交通省を初めとする関係省庁及び地元選出の国会議員等に対し、花宗川の大雨時の現状等の内容を説明し、一定の理解をいただいたこと。八女市、筑後市、柳川市、大木町の花宗沿川自治体の首長及び議長に花宗水門に強制排水ポンプ設置に対し御理解をいただき、応援する旨の約束をいただいたことです。特別委員会は、改選時期のため、27年3月20日をもって調査を終了しました。